【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公開番号】特開2016-85092(P2016-85092A)
【公開日】平成28年5月19日(2016.5.19)
【年通号数】公開・登録公報2016-030
【出願番号】特願2014-217156(P2014-217156)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｃ　21/34　(2006.01)
Ｇ０８Ｇ　1/0969　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｃ　21/34
Ｇ０８Ｇ　1/0969

【手続補正書】
【提出日】平成29年4月27日(2017.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザにより入力された情報に応じて、目的地を設定する目的地設定手段と、
前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内手段と、
前記目的地の指定態様に応じて異なる閾値を設定する閾値設定手段と、
前記移動体と前記目的地との位置関係を示す指標が前記閾値以下となった場合に、前記経路案内手段による経路案内を終了させる制御手段と、
を備えることを特徴とするナビゲーション装置。
【請求項２】
前記目的地設定手段は、前記入力された情報により指定された指定地点、または当該情報により指定された指定領域の代表地点を、目的地として設定し、
前記閾値設定手段は、前記目的地として前記指定地点、または前記代表地点が設定されたかに応じて異なる閾値を設定することを特徴とする請求項１に記載のナビゲーション装置。
【請求項３】
地図の縮尺を切りかえて表示する表示手段をさらに備え、
前記目的地設定手段は、前記入力された情報により指定された指定地点を、目的地として設定し、
前記前記閾値設定手段は、前記指定地点が指定された際の前記地図の縮尺に対応する閾値を設定することを特徴とする請求項１に記載のナビゲーション装置。
【請求項４】
前記閾値設定手段は、前記指定地点が指定された際の前記地図の縮尺が、詳細な地図を表示させる縮尺であるほど、前記閾値の長さを短くすることを特徴とする請求項３に記載のナビゲーション装置。
【請求項５】
前記指標は、前記移動体と前記目的地との距離であり、
前記閾値は、前記距離に対する距離閾値であることを特徴とする請求項１～４のいずれか一項に記載のナビゲーション装置。

【請求項６】
前記移動体が活性状態であるか不活性状態であるかを検出する検出手段をさらに備え、
前記閾値設定手段は、前記閾値として、第１閾値と第２閾値を設定し、
前記制御手段は、前記指標が、前記移動体が活性状態を継続した状態で前記第１閾値以下となった場合、又は、前記移動体が不活性状態から活性状態になったのを前記検出手段が検出した際に前記第２閾値以下である場合に、前記経路案内を終了させることを特徴とする請求項１～５のいずれか一項に記載のナビゲーション装置。
【請求項７】
前記閾値設定手段は、前記第２閾値を前記第１閾値より長くなるように設定することを特徴とする請求項６に記載のナビゲーション装置。
【請求項８】
前記閾値設定手段が設定した閾値と、前記目的地設定手段が設定した目的地とを関連付けて記憶する記憶手段をさらに備え、
前記目的地設定手段は、前記記憶手段に記憶される目的地の履歴からユーザ入力により選択された地点を、次に案内すべき目的地として設定し、
前記制御手段は、前記指標が、前記目的地として設定された地点に関連付けられて前記記憶手段に記憶された閾値以下となった場合に、前記経路案内手段に前記経路案内を終了させることを特徴とする請求項１～７のいずれか一項に記載のナビゲーション装置。
【請求項９】
過去において、検索、設定、または登録した地点と、当該地点がユーザ入力により指定された指定地点またはユーザ入力により指定された指定領域の代表地点のいずれかであるかに基づいて、又は当該地点が地図上で指定された場合には指定時での当該地図の縮尺に基づいて設定された距離閾値とを、関連付けて記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶された地点の中からユーザが選択した地点を目的地として設定する目的地設定手段と、
前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内手段と、
前記移動体と前記目的地までの距離が、前記目的地として設定された地点に関連付けて前記記憶手段に記憶された距離閾値以下となった場合に、前記経路案内手段による経路案内を終了させる制御手段と、
を備えることを特徴とするナビゲーション装置。
【請求項１０】
ナビゲーション装置が実行する制御方法であって、
ユーザにより入力された情報に応じて、目的地を設定する目的地設定工程と、
前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内工程と、
前記目的地の指定態様に応じて異なる閾値を設定する閾値設定工程と、
前記移動体と前記目的地との位置関係を示す指標が前記閾値以下となった場合に、前記経路案内工程による経路案内を終了させる制御工程と、
を有することを特徴とする制御方法。
【請求項１１】
コンピュータが実行するプログラムであって、
ユーザにより入力された情報に応じて、目的地を設定する目的地設定手段と、
前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内手段と、
前記目的地の指定態様に応じて異なる閾値を設定する閾値設定手段と、
前記移動体と前記目的地との位置関係を示す指標が前記閾値以下となった場合に、前記経路案内手段による経路案内を終了させる制御手段
として前記コンピュータを機能させることを特徴とするプログラム。
【請求項１２】
請求項１１に記載のプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
請求項に記載の発明は、ナビゲーション装置であって、ユーザにより入力された情報に応じて、目的地を設定する目的地設定手段と、前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内手段と、前記目的地の指定態様に応じて異なる閾値を設定する閾値設定手段と、前記移動体と前記目的地との位置関係を示す指標が前記閾値以下となった場合に、前記経路案内手段による経路案内を終了させる制御手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、請求項に記載の発明は、ナビゲーション装置であって、過去において、検索、設定、または登録した地点と、当該地点がユーザ入力により指定された指定地点またはユーザ入力により指定された指定領域の代表地点のいずれかであるかに基づいて、又は当該地点が地図上で指定された場合には指定時での当該地図の縮尺に基づいて設定された距離閾値とを、関連付けて記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された地点の中からユーザが選択した地点を目的地として設定する目的地設定手段と、前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内手段と、前記移動体と前記目的地までの距離が、前記目的地として設定された地点に関連付けて前記記憶手段に記憶された距離閾値以下となった場合に、前記経路案内手段による経路案内を終了させる制御手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、請求項に記載の発明は、ナビゲーション装置が実行する制御方法であって、ユーザにより入力された情報に応じて、目的地を設定する目的地設定工程と、前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内工程と、前記目的地の指定態様に応じて異なる閾値を設定する閾値設定工程と、前記移動体と前記目的地との位置関係を示す指標が前記閾値以下となった場合に、前記経路案内工程による経路案内を終了させる制御工程と、を有することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、請求項に記載の発明は、コンピュータが実行するプログラムであって、ユーザにより入力された情報に応じて、目的地を設定する目的地設定手段と、前記目的地へ移動体が移動すべき経路を案内する経路案内手段と、前記目的地の指定態様に応じて異なる閾値を設定する閾値設定手段と、前記移動体と前記目的地との位置関係を示す指標が前記閾値以下となった場合に、前記経路案内手段による経路案内を終了させる制御手段として前記コンピュータを機能させることを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】